

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス「ぼけっと」		
○保護者評価実施期間	令和6年8月1日		令和6年8月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26名	(回答者数) 21名
○従業者評価実施期間	令和6年8月1日		令和6年8月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年10月11日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	余暇や外出の充実	学校休業日には調理実習や買い物体験等、地域資源を活用した余暇の提供を積極的に行っています。 土曜日営業時は、外食や県内ドライブなど平日のサービス時間内には行くことができない場所へ出かけ、社会経験や自己決定の場面提供をしています。	公共交通機関の活用や、自分たちで外出等の計画を立て実際に出かける等の主体的に参画できるプログラムを提案し、それに伴うスキルの獲得を目指した支援を行います。
2	個々の成長を感じてもらえるような細やかな情報共有の実施	保護者様に、連絡ノートや帰りの迎えの際に利用時の様子についてお伝えしています。活動の様子だけではなく、普段とは違う反応があった時や成長の様子、その日のエピソードを交えてぼけっとで過ごしている様子をイメージしやすいようお伝えすることを心掛けています。	HPを活用し、活動の様子や創作品、畑の収穫の様子などタイムリーな記事を掲載していくことで、よりぼけっとでの活動のイメージを持っていただけるよう取り組んでいきたいです。
3	地域住民や隣接施設(みたけの杜)との交流	おもちゃ図書館が併設してあることから、地域住民の方が気軽に足を運んでいただける環境となっています。また、隣接しているみたけの杜の職員や利用者との交流や相談支援事業所みたけと連携した防災訓練を実施しています。事業所だけではなく、周りの環境で過ごす人を知り、知ってもらえるよう交流する機会を設けています。	おもちゃ図書館については、HPやSNSを通してのPRすることで地域の方に施設を知っていただけるきっかけ作りをしていきたいです。また、近隣の学校へ呼びかけボランティアの積極的な受け入れを考えています。みたけの杜の利用者と合同で行える行事や交流する場を設け、声を掛け合える関係づくりに努めてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報の共有・発信	各種マニュアルの整備や避難訓練などの実施をしているものの、保護者様への周知が行き届いていない部分があり、様子がわからないとお声をいただきました。保護者様との面談時はお子様の様子についての情報共有や話題が多くなってしまったため、事業所の運営内容等の説明不足が課題と感じています。	モニタリングなどの面談時にマニュアルや非常時の対応についての説明を行い保護者へ周知を行います。また、ホームページの活用を行いタイムリーに情報発信をしていきたいと思っています。
2	制度や取り巻く環境の変化に伴う知識の不足	今年度大きな報酬改定が行われたことで、これまで知りえた知識に加え、新たな取り組みが必要になっています。日々変化する福祉情勢について情報収集を行い、その理解と知識の習得が必要になっています。	新たな知識の習得を目指し、事業所会議にて読み合わせ等を計画的に行うとともに、支援職員が制度を理解したうえで一定水準のサービス提供が行えるよう取り組んでいきたいと思っています。